長洲町教育委員会 会議録

会議録	令和元年度 第6回長洲町教育委員会会議		
招集年月日	令和元年7月29日(月) 午後2時30分 招集		
招集場所	長洲町役場 3階 中会議室		
出席者	委員会	教育長 戸越政幸、坂本裕文教育長職務代理者、 田中伏美委員、隈部壽明委員、徳田美津子委員	
	事務局	学校教育課	課長 松林智之
		生涯学習課	課長 藤井 司
欠席者	なし		
職務説明責任者	松林 学校教育課長		
会議録作成者	松林 学校教育課長を指名		

日程番号	事件番号	事 件 内 容
第 1		議事日程について
第 2		会議録署名委員の指名について
第 3	協議第3号	学校の夏季休業期間内における学校閉庁日について (学校教育課)
第 4	報告第9号	7月校長会について (学校教育課)
第 5	報告第10号	生徒指導について【非公開】 (学校教育課)

開会（午後 2 時 30 分）

○学校教育課長（松林智之）

ただ今から令和元年度第 6 回目の教育委員会会議を開催いたします。

地方教育行政法第 13 条第 1 項の規定に基づきまして、教育長に会議の議事進行をお願いします。よろしくお願いいたします。

○教育長（戸越政幸）

それでは、令和元年度 第 5 回 教育委員会会議を開会します。あらかじめ、お諮りします会議の議題は事前に通知しておりますとおりでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

それでは、日程番号第 1、議事日程について、本日 1 日間とします。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

日程番号第 2、会議録署名委員の指名について、徳田委員を指名します。

また、日程番号 5、協議第 3 号の「生徒指導」については、個人情報が含まれますので、非公開として取り扱います。

それでは、日程番号第 3、協議第 3 号について、事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長（松林智之）

（協議第 3 号 学校教育課長説明）

○教育長（戸越政幸）

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

○教育委員（田中伏美）

この内容は大体何月くらいに分かるものですか。普通もっと早めにこの議題を検討するなり、4 月の年度初めに挙げるなりできるのではないのでしょうか。

○学校教育課長（松林智之）

ご指摘のとおり、閉庁日につきましては 4 月か 5 月くらいに計画をある程度しておりました、今回、教育委員会にお諮りするのが遅れました。大変申し訳ございません。学校も 13、14、15 日を閉庁日として計画を立てておりました、前後する形になりましたけども、今回、教育委員会でも協議・承認をしてもらってというところをお願いしたいと思っております。前後になりますが、申し訳ございません。

○教育委員（田中伏美）

この計画には 13、14、15 となっていますが。

○学校教育課長（松林智之）

例年、13、14、15 ということで、学校もそう思っていっちゃって、今年度については、14、15、16 というところで。学校に周知が届いているところと届いていないところが

あったのですが、計画としては、5月、6月の段階では14から16ということで思っていたのですが、すみません、その行き違いは学校であったのですが、現在は14、15、16で追加報告として学校の方も修正がかかっているところです。

○教育長（戸越政幸）

今の説明でよろしいでしょうか。

○教育委員（田中伏美）

はい。

○教育長（戸越政幸）

それでは、次年度はもっと早い時期に提案をするということで、ご理解していただきたいという風に思います。

この件については、よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

では、終わります。

次に日程番号第4、報告第9号について、事務局から説明をお願いします。

（報告第9号 学校教育課長 説明）

○教育長（戸越政幸）

はい、説明ありがとうございました。何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。

○教育委員（隈部壽明）

2番の夢づくりトーク、去年はこども議会と夢づくりトークを交互にするということであったが。

○学校教育課長（松林智之）

昨年は、腹栄中学校のこども議会、一昨年前は長洲中学校のこども議会でしたが、町政60周年の記念行事として開催したところです。本来は両中学校で一緒に開催したかったのですが、事情でできなくて、長洲中学校を先にして腹栄中学校を翌年度にということで、昨年度腹栄中学校で実施したところです。

一応、記念行事ということで、夢づくりトークを議会と一緒に開催したところですが、長洲中学校を先に行ったので、腹栄中学校でも実施をということで、翌年度開催したところです。

○教育委員（隈部壽明）

記念行事だからというのではなくて、教育的見地でこれから子ども達が大人としての取扱いが早まっていくということで、これから政治や行政に興味を持ってもっと積極的に意識を持ちましょうという意味で議会に参加する、という意味合いでやり始めたとは思っていません。

○学校教育課長（松林智之）

この事業は、議会からの要請が先なんですよね。夢づくりトークは町長との座談会トークになるんですけど。普段は町長が学校に出向いて、生徒たちの意見を聞いてという形で行い

ますけど、その時は記念行事というのもあったんですけど、議会から議場を使って一緒にやれないかという発案がありまして、では、長洲中学校で実施をし、翌年度腹栄中学校となったという訳です。

○教育委員（隈部壽明）

で、議会からの要請がなくなったということですか。

○学校教育課長（松林智之）

そうですね。スタンスとしては、事務局は教育委員会ではなく、町部局となっていて、今年度は通常どおりになったということです。

○教育委員（隈部壽明）

議会は、もっとちゃんと考えて「何のためにやるのか」と、やるんだったら継続してそういう想いを実現するまでずっとやり続けなければいけないというのが本来であって。イベント事として行うのはそもそも変な話だという風に言いたいなど。議会に対して。

○学校教育課長（松林智之）

その通りだと思います。議会の中での意見が統一されていない部分があるみたいですね、そこは、議会の方が一枚岩じゃなくて、いろんな考え方でいらっしゃる方がいらっしやると。

○教育委員（隈部壽明）

教育的な見地で議会を見ていくという意思がないと。

○教育委員（徳田美津子）

ぜひ続けてほしかったと言いたかったですけどね。

○学校教育課長（松林智之）

ただそれは議会の協力がないとできない。議場を使ってという、ああいう形ができない。

○教育委員（隈部壽明）

夢づくりトークで出た要望事項、それは何だったか教えてほしい。

○学校教育課長（松林智之）

内容は、教育委員会でも把握はしています。できるところからということで、達成しているものもありますし、できていない部分もあります。また、そこには予算が必要な部分もありますし。そういった状況を踏まえながら少しでも要望に応えるようなところで考えています。要望は、町長に対して、ですから。

○教育委員（隈部壽明）

教育的な見地からの要望もあつたんですか。

○学校教育課長（松林智之）

もちろん、そういう内容もありますし、それ以外もあります。町全体のこととか。観光であつたりとか、防犯であつたりとかがあります。

○教育長（戸越政幸）

他にございませんでしょうか。

○教育委員（徳田美津子）

中学校で、例えば夏休み明け不登校を出さないために、しっかりと対応していきたい。この、しっかりとは何でしょうか。具体的なことが分かるなら教えてほしいです。

○学校教育課長（松林智之）

教育長からも、指導講話の中にもありましたけども、夏休み中は、児童生徒との関係が途切れないような、例えば休み中どうしていたかとか、そういった連絡であったりとか声かけであったりとか、体調面の確認とかそういうところをしっかりとすることです。部活をしていれば学校には来るんでしょうけど。安否確認も兼ねてそういったところもしていきましょうということですよ。

○教育委員（田中伏美）

担任がそういうことをしていらっしゃるということですね。

○教育長（戸越政幸）

してほしいと。家庭訪問であったり、電話で「元気にしているかい」とかですね、「宿題は終わりよるかい」とか、そういうようなさりげない会話からでも、それから親と話をして繋がっておくということが大事ではないかと。

○教育委員（田中伏美）

以前はですね、清里小ですけど夏休みに入って教育相談のようなことを呼び掛けて、希望者ですけど親が来たりする機会もあったんですけど。今はないみたいで。他の学校も。

そういう機会は案外私にとっては有難かったんですけど。家庭訪問くらいしかなかなか1対1で話す機会はなくて。かといって、他愛もないことなので、わざわざ学校まで出向いて先生としゃべろうという感じもなく。そういう機会があると申し込んでちょっと話してこよかなという機会があったんですけど、他の学校はどうか分かりませんが。なかなかそういう機会も少なくなっているなというのを感じます。

教育長が要請してくださっているのならいいです。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

中学校は3年生の三者面談がありますからね、学校も動きやすいですけどね。小学校も以前は教育相談みたいなこともしていたんですけど。希望する方も何人かはいらした。

まあそういう機会もいいのかなと思うんですけど。

○教育長（戸越政幸）

そういう機会は作っていった方がいいと思いますけどね。ましては、こういう不登校あたりを無くしていくためには。あの手この手で関わっていきたいですね。例えば、いつ頃に相談の日を設けますよ、必要な方という風なセッティングをすればですね、働き方改革云々でもないと思うんですよ。

働き方改革が前面に出すぎて、本分を忘れてはいけないと僕は思ったりするんですよ。当然やるべきことであるし。夏季休業中にしかなかなか取れない休暇というのはですね、特休にしてもリフレッシュ休暇などは、子どもがいない時に取りやすいから取ってくださいと

いうところもあるんだけど、やはり本分半分として教材研究に打ち込んでみたり、あるいは不登校気味になっている生徒にどう手を差し伸べていくかというのは日頃できない時間がある時にできることがあるので。ぜひそういうのは持ってほしいなと思いますけどね。

また、今のご意見等あたりを、校長会あたりもありますので、今後のことで冬休みもありますし、長期休業期間中の子どもとの関わりとか、そういう親御さんとの関わりとか、そういう面で投げかけて指導していきたいと思っています。

○教育委員（隈部壽明）

夏休みでいくと、昔は全校登校日みたいなのがあって途中で行ってましたが、何で今はなくなったのか、理由は。ない方がいいのか。

○教育委員（田中伏美）

それこそ、平和教育とかやってましたよね。なくなったのは、働き方改革のためでしょうか。

○教育長（戸越政幸）

まだ、そういう時代ではなかったかと。ここ1、2年のはずではないでしょうから。

○教育委員（隈部壽明）

あった方が良くないですか。

○教育長職務代理人（坂本裕文）

結局その、登校日に先生達が全部揃わない。研修があつたりして。担任の先生が来れない状況があるからではないか。今は、研修関係の理由かな。

○教育委員（隈部壽明）

アメリカからの体験入学、これは定期的に毎年とか、どういうタイミングでどういう名目で。

○学校教育課長（松林智之）

家庭（父の仕事）の事情でアメリカに行つててですね、3日間だけ一緒に地元の子ども達と過ごしたいというところで、学校の方に体験入学というところで、本格的に授業を受けるんじゃないで、一緒に活動をしたいという目的で、3日間だけ参加された。学校の方も受け入れが可能でしたので、3日間来ていただいたということです。

○教育委員（隈部壽明）

お父さんがアメリカ人。

○学校教育課長（松林智之）

いえ、ご両親とも日本人だったと思いますけど。留学でアメリカに行つて、こちらに祖父母の家があつて、こっちに帰ってきてという流れで、毎年ではないようです。今年が初めてです。全授業ではなく、この時間だけといったように参加してたようです。

○教育長（戸越政幸）

他、ございませんでしょうか。ないようでしたらこの件については終わります。

次に、日程番号第5、報告第10号について、事務局から説明をお願いします。なお、こ

の案件は個人情報が含まれますので非公開として取り扱います。

(報告第 10 号 学校教育課長 説明)

－ 報告第 10 号の質疑については、個人情報の保護の観点から非公開 －

○教育長（戸越政幸）

よろしいでしょうか。

他はございませんでしょうか。

それでは、これをもちまして、本日の全日程が終了いたしました。

第 6 回教育委員会会議を終了いたします。

大変お疲れ様でした。

閉会（午後 3 時 45 分）